

なぜ共同受講ブログなのか？

2011.9.15 田中浩朗

この文章では、私がなぜ授業に共同受講ブログを導入しようと考えたのか、その理由と、このブログを利用する際の注意事項について説明します。

Twitter とブログを授業に活用したい

私は当初、既存の Twitter とブログを授業に活用することを考えていました。Twitter の特徴はリアルタイムの情報交換です。これを授業中に使うことにより、受講者と教員の間、および受講者同士の間の情報交換が可能となります。これまで、授業中にこうした情報交換を行おうとしても、口頭だとリアルタイムで行えるものの、交換できる情報の量は限られます。他方、アンケートのように紙に書いて集めると、交換できる情報量は増えるものの、紙の配布・回収・整理などで時間がかかり、リアルタイムでの情報交換は難しくなります。Twitter はこうした従来の方法の制約を克服し、リアルタイムで大量の情報交換を可能とします。受講者は授業中、つねに他の受講者や教員と情報交換をすることができるため、従来よりも積極的に授業に参加することができるでしょう。私は、他の視聴者と同じテレビ番組や Ustream の中継を見ながら Twitter で感想などをリアルタイムで交換すると、単に一人で見ている時よりも一層楽しく、また参考にもなる場合があることを経験しています。授業で Twitter を使うことも同様の効果があるのではないかと考えたのです。

他方私は、学生がブログを用いて学習記録を付け、それを公開して他の受講者と共有し、さらに受講者相互でコメントし合うようにしたいと考えていました。これからの学習には、ネットを介して学習者同士が協力し合うことが必要だと考えているからです。現代は、情報が溢れ、情報の入手自体はかつてに比べてはるかに容易になっています。しかしそれと反比例するように、学習に対するモチベーションを維持することは益々困難になっています。かつては、机を並べて学ぶクラスメート同士の切磋琢磨がモチベーションを維持する上で役立つこともあったでしょう。しかし、明確な学ぶ動機を持たずに入学した学生が、大学の中で自分と同じ目標を持つ学習仲間を見つけることは至難の業です。公開のブログを用いることにより、そうした学習仲間を見つける可能性は高まるでしょう。授業で学生にブログを書いてもらうことは、ネットを介して協力し合うこれからの学習スタイルに慣れてもらうという意義があると思います。また今日、多くの人が Twitter や Facebook といったソーシャルメディアを用いて自分に関する様々な情報を発信し、人間関係を広げています。大学の学習においてネット上に自分の学習過程を公開することは、その学習自体を活性化させるだけでなく、大学を出てからも役立つソーシャルスキルを身に付けることに役立つでしょう。

このような考えのもとに、私は Twitter とブログを授業に活用したいと思ったのですが、これらを別々のシステムとして運用するには問題がありました。というのも、Twitter は基本的にリアルタイムのメディアであり、過去のツイートを保存・活用する機能が弱いからです。授業で Twitter を使う以上、過去のツイートもブログの書き込みと合わせて保存・活用したいものです。また、成績評価をする上でも、それらはまとめて保存されていないと、情報の整理に余計な手間がかかります。こうした問題を解決するのが、「共同受講ブログ」なのです。

共同受講ブログとは何か

共同受講ブログとは、Twitter とブログの機能を合わせたようなウェブ上の情報共有・情報交換システムです。見た目はウェブ版の Twitter に似ており、画面トップに小さな書き込み欄があります。そこに何かを書いて投稿ボタンを押せば、書いたことが直ちに書き込み欄の下に現れます。多くの人がそこに書き込めば、Twitter のタイムラインのように、様々な人の書き込みが新しいものから古いものへと書き込み順に表示されます。書き込みと表示のタイムラグはあるものの、チャットと同じように使うこともできます。

このシステムのブログ的な側面は、Twitter と違って書き込みの文字数に制限がなく、長い文章も掲載することができます。それにはタイトルやタグを付けることもできます。また、ある書き込みに別の人がコメントをつけることもできます。また、Twitter の「お気に入り」ボタンと同様のブックマーク機能もあり、そのランキングはみんなから注目されている書き込みを浮かび上がらせることとなります。こうしたコミュニケーションのための機能は、ブログを書き続けるモチベーションを高めることに寄与するでしょう。

共同受講ブログへの書き込みの種類

受講者は当面、共同受講ブログに以下のようなことを書き込むことが求められます。

(1) 授業ツイート

授業中に書き込む短い書き込み（目安として100字以内）を「授業ツイート」と呼びます。これには、以下のようなもの（かぎカッコ内は例）が含まれますが、基本的には「記録・メモ」を中心に書くと、受講記録として有用だと思います。なお、各回の授業でそれぞれ最低3個（たとえば授業の初め・途中・最後に1回ずつ）書くことを原則とします。

挨拶：教員や他の受講者に対する挨拶・呼びかけ

「第〇回の授業に出席します」「よろしく願います」

質問・疑問：教員や他の受講者に対する質問、ふと頭に浮かんだ疑問、など

「〇〇とは何ですか?」「なぜ〇〇なのだろうか?」

応答・回答：教員や他の受講者からの呼びかけ・質問に対する応答・回答

「知っています」「聞いたことがありません」「〇〇だと思います」

要望：教員や他の受講者への要望

「もっとゆっくり話してください」「後ろの方で私語がうるさいので注意してください」

記録・メモ：授業で大事だと思ったこと、思い付いたこと、感想など

「〇〇は重要」「〇〇について後で調べる」「〇〇は意外だった」

参考情報：教員の話や他の受講者の書き込みに関連して参考となる情報

「〇〇については参考書の〇〇ページに書いてありますよ」

(2) 授業後の書き込み（各回まとめ、各回感想、各回意見など）

各回の授業が終わった後、教員の指示に従って、比較的長い文章（原則として100字以上）を書き込んでください。この場合は、長い書き込みとしてタイトル付きで書いてください。タイトルは教員の指示に従ってつけてください。

(3) 自主的な学習の成果

授業時間外に、自分で調べたことなど、自主的な学習の成果を短い書き込みまたは長い書き込みとして書き込むのも大いに歓迎します。これは教員点の中で成績評価にも加味します。

(4) コメント

ブログのコメント機能を用いて、他の受講者が書いた上記(1)~(3)の書き込みに対してコメントを付けてください。コメントの内容は、感想・質問・応答・参考情報などです。なお、コメントは、各回（授業中または授業後）につき最低1個は付けることを原則とします。

(5) 「お気に入り」ボタン

書き込みではありませんが、他人の書き込みに対して、参考になると思った場合や他の人に勧めたいと思った場合には、その書き込みの「お気に入り」ボタン（☆印）を押してください。「お気に入り」ボタンを押した書き込みは、「私のお気に入り」のページで一覧できるほか、そのランキングがサイト右側に表示されます。

共同受講ブログ使用上のルールとマナー

共同受講ブログは、以下のようなルールとマナーを守って使ってください。

- ・ 授業に全く関係がないような書き込みはしない。
- ・ 誹謗中傷や他人を不愉快にさせるような書き込みはしない。
- ・ 特定の人にしか分からないような隠語や省略形は使わない（2ch用語など）。
- ・ 学外の人も読む可能性を考えて、学問をする者にはふさわしくないような、くだけすぎた文体や品のない言葉遣いは避ける。
- ・ 授業中にパソコンを使う場合は、回りの人の迷惑にならないように配慮する（音の問題など）。